

2011年10月24日

社団法人 日本画像医療システム工業会

「第9回画像医療システム等の導入状況と安全確保状況に関する調査」
紹介記事を日本放射線技術学会雑誌に掲載

(社)日本画像医療システム工業会(以下 JIRA、会長 加藤 久豊)は、2010年11月 - 12月に日本放射線技師会の協力のもと全国の医療機関 1000施設を対象に調査した「第9回画像医療システム等の導入状況と安全確保状況に関する調査」結果を2011年5月に発刊しました。本調査結果を日本放射線技術学会雑誌(注) の2011年7、8月号に紹介しました。

JIRA は 1988 年より継続して画像医療システムの「平均買い替え年数」、「稼働年数別台数」、「保守点検状況」の調査を実施し、今回で9回目となるものです。

従来は5年間隔で実施してきましたが、近年の画像医療システムを取り巻く状況変化の速さに対応して第5回(2006年)からは毎年調査を実施しています。また、稼働台数は、国際比較もできるように第7回調査(2008年)から COCIR(欧州放射線・医療電子機器産業連合会)調査と同じ年数区分別の台数に変更して調査しています。

2010年調査では、第7回調査(2008年)から追加実施した2007年の医療法及び医療法施行規則により義務化された「医療機器安全管理責任者の設置と医療機器の保守点検計画の策定その実施対応状況」についても調査しました。

調査は全国の医療施設を「99床以下」、「100-299床」、「300-499床」、「500床以上」の四つの病床群に分類し無作為抽出した合計1000病院の放射線担当部門の責任者対象にアンケート実施し、回収した526件(回収率53%)について分析致しました。

調査結果の概要は、次の通りです。

1. 「平均買い替え年数」

「X線CT装置」「血管撮影用X線装置」「MRI装置」「SPECT装置」「粒子加速装置」「超音波装置」「CR画像処理装置」の代表的7機種の「平均使用期間」は、第7回(2008年)の調査から11年を超える長期使用が固定化されています。

2. 「装置の稼働年数別台数」

装置の稼働年数別台数調査では、「10年を超えて使用している機種」は、調査対象の52機種中13機種の装置で50%以上、20機種の装置で40%以上となっています。

3. 「保守点検実施状況」

長期使用環境下での保守点検実施率については、従来から保守点検実施率が 90% 超と高い「X線 CT 装置」、「MRI 装置」では前回とほとんど変わっておりませんが、「超音波診断装置」と「回診用 X 線撮影装置」、「外科用 X 線撮影装置」、「車載用 X 線撮影装置」は前回調査より向上しています。

これは、これまで実施率の低かった機器が行政、産業界、医療関係団体などからの種々の啓発によってようやく向上傾向になった結果と見ることができますが、こうした機器での保守点検実施率そのものは、依然低い結果であり、改正医療法への対応という点では危惧される状況といえます。

4. 「医療機器安全管理責任者の設置状況など」

医療機器安全管理責任者の設置状況については、昨年より 6.3% 向上し、91.3% の施設で「設置している」と回答しており、改正医療法施行後 3 年半を経過して、ようやく 90% を超える結果となりました。

なお、安全管理責任者の義務として、医療機器の保守点検計画の策定と実施があります。策定している施設は約 80% にとどまっています。

今回の調査で平均買い替え年数の大幅な延びの固定化が顕著となり、保守管理の重要性が増す中で院内点検を含む保守点検の実施率が向上しないという状況は患者の安全確保の観点からも大きな課題ととらえております。

弊工業会、会員企業は、患者の安全確保のため医療施設への保守点検の必要性についての啓発や点検に関わる情報提供などを継続して実施するとともに、厚生労働省をはじめ関係行政機関へも保守点検実施について医療施設の患者への情報開示や実施状況の報告義務化、また保守点検実施に対する診療報酬上でのインセンティブ設定などを医療関係団体と連携して要望していきたいと考えております。

尚、本調査の報告書は、弊工業会のホームページから購入可能です。

<http://www.jira-net.or.jp/publishing/publishing.html#40>

以 上

(注) 日本放射線技術学会雑誌

放射線技術学に関する学術研究を行う学会の学会誌 16,382 名 (2011 年 2 月現在) の学会員に毎月配布されます。学会員は国内外の診療放射線技師をはじめ医師、教員、企業技術者・研究者、臨床検査技師、大学理工系研究者、学生など放射線技術学の領域全般にわたる研究者、技術者です。

(添付資料)

「第9回画像医療システム等の導入状況と安全確保状況に関する調査報告書（概要）」

【日本画像医療システム工業会について】

1924年設立以来日本における放射線医療の発展とともに歩みつづけ、今日では放射線機器・画像医療システム等を供給し、つねに先進の医療環境をサポートする179社の会員会社を擁する産業団体に成長しました。

当工業会は、設立当初から業界標準化の推進や法規制問題、安全性問題等に幅広く取り組み、人々の健康と福祉に貢献してきました。高齢化社会への対応が急がれる21世紀。今後は、予防・健康管理から早期発見・診断・治療まで、医療機器とそれに伴うサービスやソリューションの範囲を拡げていくことが使命であると考えます。

当工業会各社は、画像医療システム産業を健全に発展させ、国民の健康と日本経済の発展に貢献できるよう一丸となって活動していきます。

※ JIRAは社団法人 日本画像医療システム工業会の商標です。

本資料に関するお問い合わせ

社団法人 日本画像医療システム工業会 TEL:03(3816)3450 <http://www.jira-net.or.jp>

事務局 西口

産業戦略室 松本